



アサガオはどうして朝だけ咲くの

花は時計をもっている

花は、たいてい、1日中咲いていると思いませんか。ところが、よく観察してみると、朝6時～夕方6時ぐらいまで咲いている、キュウリのような花は少ないのです。

カボチャの花は、アサガオと同じように朝しか咲いていません。ハスの花は、昼の12時ごろには、花をとじてしまいます。オシロイバナやヨルガオ、オオマツヨイグサなどは、夜から明け方までの、太陽が出ていないときだけ咲いています。

このように、花の種類によって、咲く時間が決まっているため、アサガオは、朝だけ咲くのです。花時計は、咲く時間がちがう花を、うまく組み合わせせて植えて、作られます。

花によって、開く時刻がちがうわけ

どうして、咲く時間がちがうのかは、まだ、わかっていません。でも、その花の花粉を運んでくれる、こん虫が活動する時刻に合わせて、花が咲くといわれています。花によって、飛んでくるこん虫の種類がちがいますから、花の咲く時間もちがってくるといえます。

花の開き始める時刻は、天気や気温によってちがってきます。季節によっても、変わってきます。アサガオは、種類によっても、花が開く時刻が少しちがいますが、朝の気温が低いほど、早朝から開き始めます。

アサガオは、暗い10時間がすぎると、花が咲く

日が短くなり、早く暗くなるにつれて、アサガオの花が開く時刻が早くなります。アサガオは、暗くなってから、およそ10時間たつと、花が開くようになっているためらしいといわれています。アサガオを夜になってからも、明るい所に置いておくと、次の日、花の開く時刻がおそくなるのが、実験で確かめられています。(監修・中山 周平)

